

スマート農業技術紹介 第5回 栽培管理システム

第5回では、栽培管理システムについてご紹介します。栽培管理システムによって、農作業に関するデータを可視化、活用することで作業の効率化・自動化や情報共有の迅速化などを実現できます。

(1) 栽培管理システムのメリット

○圃場や品目ごとの作業実績を見える化

○マップデータを活用して、生育状況（生育量やムラなど）を適切に把握し、可変施肥等による生育の均一化
＜主な栽培管理システム＞

Z-GIS	ザルビオ
	
【ほ場をデジタル化】 これまで紙で管理していたほ場情報をデジタル化 地図とほ場を紐付け	【生育状況モニタリング】 作物の成長や健康状態をリアルタイムで表示
【データ分析】 入力データを分析、営農計画の策定や提出書類の作成	【スケジュールの最適化】 気象データを活用し、降水量予測から効率的な作業計画を 提案
【作業指示・日誌作成】 地図を色分け、ラベルの貼り付けが可能 作業内容が付いた指示書・作業日誌の作成	【生育ムラの解消】 可変施肥マップを活用することで、生育の均一化、施肥の最 適化

(2) Z-GISの特徴

○圃場の情報・地図情報をデジタル化し、圃場情報を見える化

○Excelデータを活用して好みの圃場管理帳にカスタマイズすることができ、データの管理がしやすい

○ザルビオフィールドマネージャーと連携可能

○データをクラウドに保管することで、圃場など外出先で閲覧・編集が可能

【Z-GISにできること】

①管理項目別（圃場を作物や収量など）に色分け

②管理項目（作物、品種、田植え日など）を地図上に文字で表示

③複数の中から特定の圃場の抽出

④1kmメッシュ気象情報の確認



色分け・ラベル表示した画面

●利用料金 登録100圃場ごと : 年額2,640円(税込) 月額220円(税込)
＜お試し版＞31日間無料 ※一度だけ登録可能

(3) ザルビオフィールドマネージャーの特徴

○「衛星画像・AI・スマート農機」を組合せ、作業の効率化や適性施肥・防除を実現するシステム

○可変施肥・可変散布を行うためのマップを作成し、農機連携で効率・収量アップ

○日々の作業・肥料農薬を登録し、営農計画が管理可能（栽培履歴をPDF/Excel出力可能）

【ザルビオにできること】

①地力が低い・生育の悪い場所が一目でわかる地力マップ・生育マップ

②作業に適した天候の日時が把握できる天気予報・散布天気予報

③生育に合わせて的確な作業を計画できる生育ステージ予測

④病害発生リスクを事前に察知できる病害アラート

⑤ドローン撮影なしで可変マップを作れる可変施肥・可変散布マップ

衛星による撮影

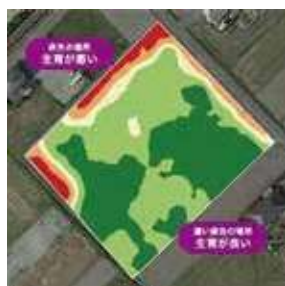


AIによる解析

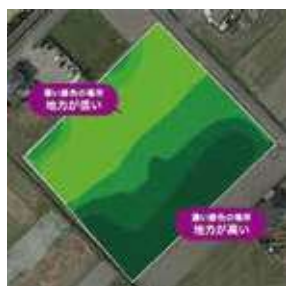
可変施肥マップ



生育マップ



地力マップ



平均施肥量を入力すれば自動作成



可変基肥(追肥)

DJI製T25で連携可能



○ザルビオはスマート農機と簡単に連携！

- 利用料金 <基本料金：2haまで利用可> 年額13,200円(税込)～
+ <1haごとの追加料金> 1haあたり550円～2,200円

お問合せ：営農部 農政・スマート農業推進課 52-4153